

緊急事態宣言を受けての COCORO 開所について

先日、国と大阪府からの方針が出され、ライフサポート協会でもサービスを継続して行うことで決まりました。ただし、依然として新型コロナウイルスによる感染力の衰えが見受けられていないのも事実です。その為、COCORO としても重度の障がいや疾患をお持ちの方々が利用されているのも鑑み、感染防止に努めたサービス実施が必要であり、以下の点に注意しながら開所を行ないます。メンバー、ご家族のみなさまには今しばらくのご協力をよろしく願います。

以下に該当する方がいましたら、通所の自粛を要請させていただく場合があります。

①熱が 37.0℃以上ある。

前回配布したお知らせでは 37.5℃と記載しましたが、感染者の症状の報告を見ると、微熱でもすでに感染しているケースもあり、設定体温をさらに下げました。なお、平熱が高い方や熱がこもりやすい方もおられると思います。その際は症状の確認をさせていただき、受け入れ可能かどうかの相談をさせていただきます。

②咳、のど痛、倦怠感、腹痛、下痢、嘔吐、吐き気がある。

すでに感染している恐れがあります。感染拡大を未然に防ぐ必要性が高いです。また、感染していなくとも免疫が落ちていることもあり、ウィルスを逆にもらいやすい状態になっていると考えられます。自身の命を守るために自宅待機が必要です。

③朝の送迎時に体温を確認させていただきます。

毎朝の体温測定にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さまざまところで発信されているように、3密（密閉・密集・密接）の状態をまず作らないことが感染拡大防止につながります。この観点から言うと、車内が一番リスクの可能性が高いです。そのため、朝の送迎時にスタッフより体温を確認させていただきます。連絡帳にも記入していただいているのですが、送迎時でも確認させていただきます。測定をお忘れの方はその場で検温もさせていただきます。その場で 37.0℃以上、もしくは体調不良の様子が見えれば、お休みしていただく場合があります。

なお、送迎時に検温をすると送迎時間に影響が出ますので、引き続き、毎朝の検温は忘れずをお願いします。

また、以下の場合、COCORO を休所する措置を取ります。

①メンバー、スタッフなど 1 人でもコロナ感染者が出た場合。

館内という 3密の状態の為、濃厚接触者が多数存在すると思われる。

②体調不良のスタッフが複数出て、現場の人員体制が確保できない場合。

現在、微熱やわずかな体調不良を訴えるスタッフがいれば、大事を取って休んでもらっています。今後も感染防止に努める為、休むことを優先した対応を取らせていただきます。

以上、事業所からの一方的なお願いとなり、申し訳ございません。国や大阪府からの指示にもある通り、開所する場合は上記のような最善の防止策を取る必要があります。また、今後、事業を続けていく中で情勢によっては事業の縮小や休所の判断を余儀なくされる場合があります。その際は事前にご連絡させていただきます。

最後に、通所されることに不安を持たれている方も多いと思います。今は人との接触を極力避けることが感染防止につながるため、通所を休むという判断も正しい決断ではないかと思えます。しばらくの間、メンバー、ご家族様には多大なる負担がかかってしまうのですが、“命を最優先に”、この一大事を乗り越えていければと思いますので、ご協力よろしくお願ひします。

大領 COCORO

施設長 北林正師

サービス管理責任者 中野直樹